3 year guarantee   Patented

ASAP

B71

(EN) Mobile fall arrester for rope
(FR) Antichute mobile sur corde
(DE) Mitlaufendes Auffanggerät für Seile
(IT) Anticaduta di tipo guidato su corda
(ES) Anticaídas deslizante para cuerda

CE 0082

EN 353-2 : 2002
EN 12841 : 2006 **A**

Individually tested

350 g

WARNING

Activities involving the use of this equipment are inherently dangerous. You are responsible for your own actions and decisions.

Before using this equipment, you must:
- Read and understand all Instructions for Use.
- Get specific training in its proper use.
- Become acquainted with its capabilities and limitations.
- Understand and accept the risks involved.

FAILURE TO HEED ANY OF THESE WARNINGS MAY RESULT IN SEVERE INJURY OR DEATH.

OK TRIACT LOCK

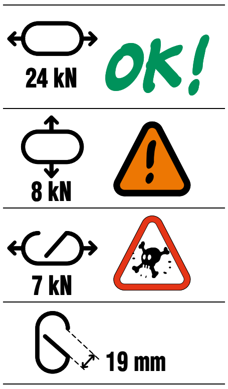
M33 TL

CE 0082

EN 362 : 2004 class B
EN 12275 : 1998 type B

77 g

(EN) Double autolocking carabiner
(FR) Mousqueton à double verrouillage automatique
(DE) Karabiner mit automatischem Verriegelungssystem
(IT) Moschettone a doppio bloccaggio automatico
(ES) Mosquetón de bloqueo doble automático



PRICE

PETZL
ZI Cidex 105A
38920 Crolles
France
www.petzl.com/contact

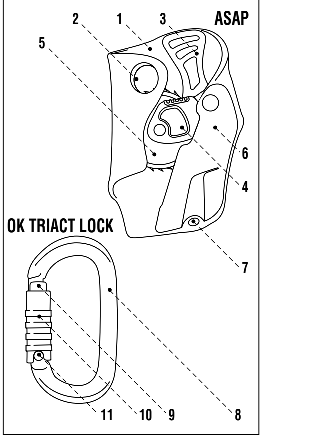
ISO 9001
Copyright Petzl

www.petzl.com
Instructions for use
+
Product experience

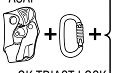
Latest version
+
Other languages

B715000G (270410) recto

Nomenclature of parts



CE 0082 EN 353-2



Parallel PETZL 10.5 mm
Axis PETZL 11 mm
Antipode BEAL 10,5 mm
Antipode / Industrie BEAL 11 mm
Rescue EDELWEISS 13 mm

www.petzl.com

10,5 ⩽ ∅ ⩽ 13 mm
EN1891 A

EN 353-2

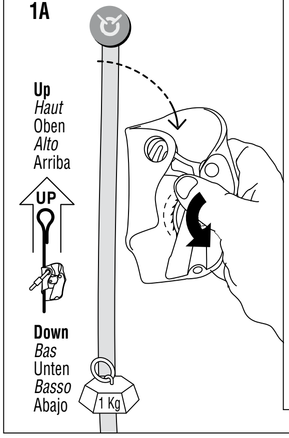
Requirement
Exigence
Anforderung
Requisiti
Exigencia

Minimum breaking strength of the rope with its termination

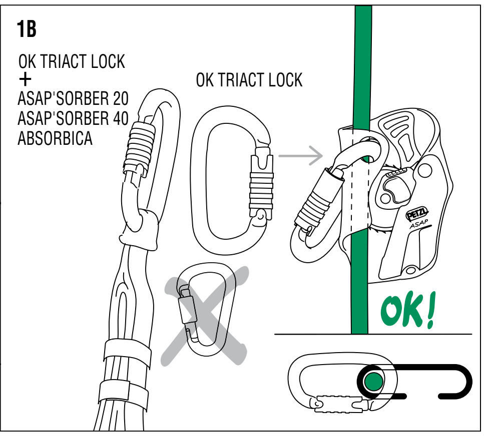
22 kN

1. Installation

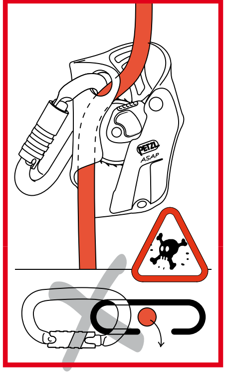
1A



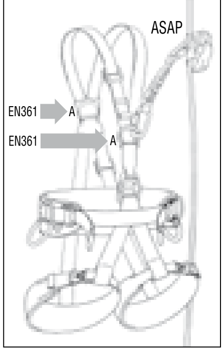
1B



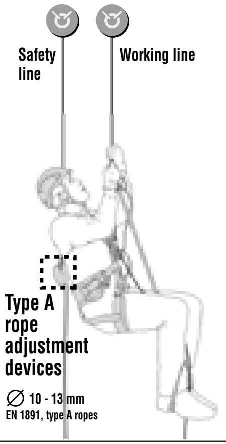
1C. DANGER



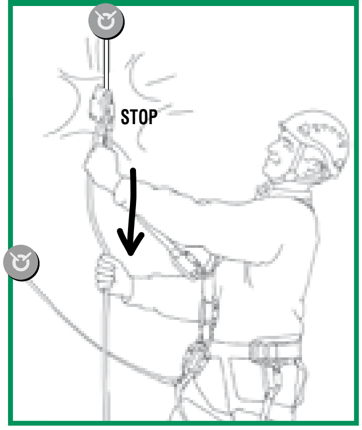
1D. Fall arrest attachment points



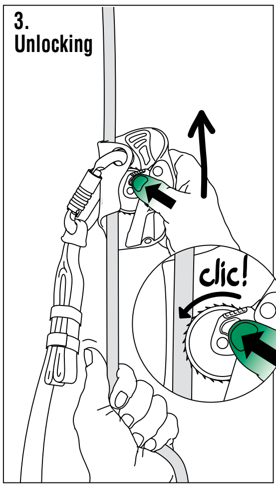
CE 0082 EN 12841



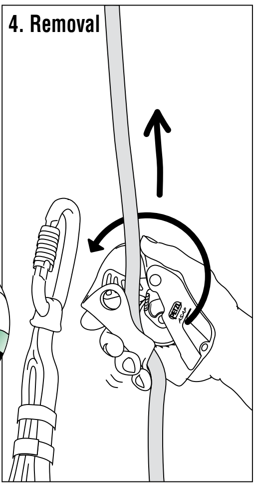
2. Operational check



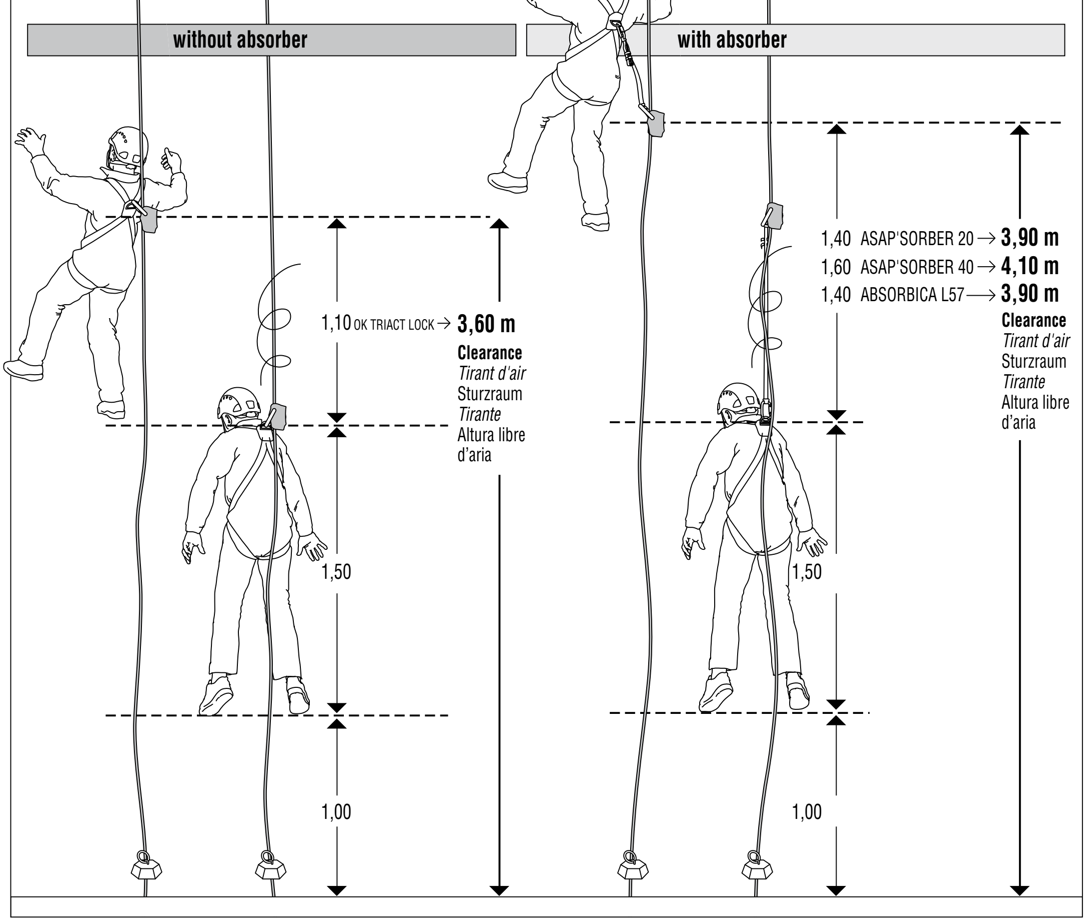
3. Unlocking



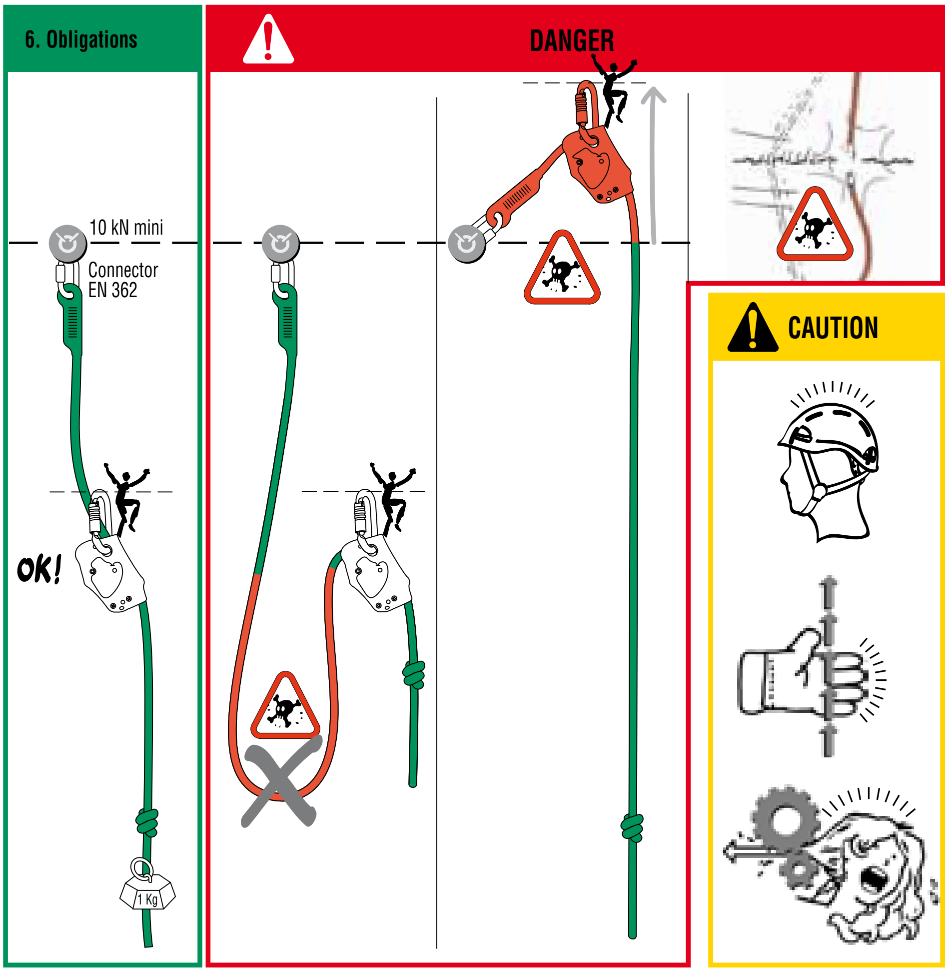
4. Removal

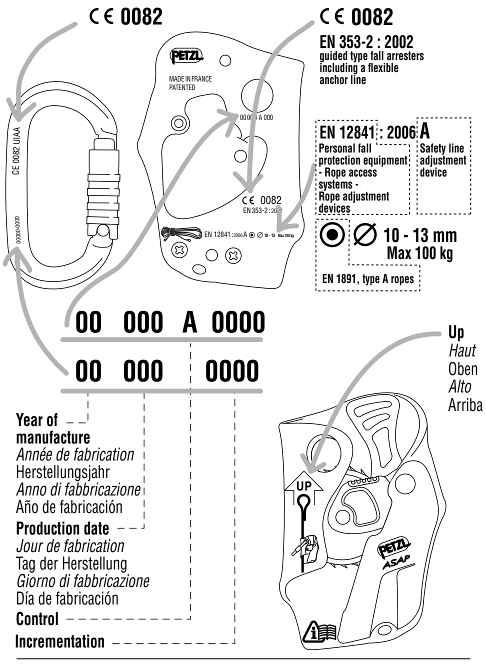


5. Clearance



6. Obligations





CE 0082

Body controlling the manufacturing of this PPE
Organisme contrôlant la fabrication de cet EPI
Organisation, die die Herstellung dieser PSA kontrolliert
Organismo che controlla la fabbricazione di questo DPI
Organismo controlador de la fabricación de este EPI

Notified body intervening for the CE type examination
Organisme notifié intervenant pour l'examen CE de type
Zertifizierungsorganisation für die CE-Typenüberprüfung
Ente riconosciuto che interviene per l'esame CE del tipo
Organismo notificado que interviene en el examen CE de tipo

APAVE SUD Europe BP 193,
13322 Marseille Cedex 16
N°0082

B715000G (270410) verso

(JP)日本語

図に示された使用方法の中で、×印やドクロマークが付いていないものだけが認められています。最新の取扱説明書はウェブサイト（www.alteria.co.jp）で参照できますので、定期的に確認してください。
疑問点や不明な点は(株)アルテリア（TEL04-2969-1717）にご相談ください。
アサップ B71
モバイルフォールアレスター
オーケー トライアクトロック M33 TL
ダブルオートロッキングカラビナ

用途について
この製品は個人保護用具（PPE）です。この製品は、ロープを使用したフォールアレストシステムを構成する用具の１つであり、１人の人の墜落を止めるようにデザインされています。
『アサップ』は手で操作をしなくてもロープ上を上下両方向に移動します。下方へ急激に動くと、器具がロープ上でロックします（下降速度が速すぎる場合、作業中にバランスを失った場合、墜落した場合等）。
『オーケー トライアクトロック』は『アサップ』とハーネスをつなぐコネクターとして特別にデザインされたカラビナです。
製品に表示された破断強度以上の荷重をかける使用や、本来の用途以外での使用は絶対に避けてください。

警告
この製品を使用する高所での活動には危険が伴います。
ユーザー各自が自身の行為、判断についてその責任を負うこととします。
使用する前に必ず：
- 取扱説明書をよく読み、理解してください
- この製品を正しく使用するための適切な指導を受けてください
- この製品の機能とその限界について理解してください
- 高所での活動に伴う危険について理解してください
これらの注意事項を無視または軽視すると、重度の傷害や死につながる場合があります。

責任
警告：使用前に必ず、「用途について」の欄に記載された使用用途のトレーニングを受けてください。
この製品は使用方法を熟知していて責任能力のある人、あるいはそれらの人から目の届く範囲で直接指導を受けられる人のみ使用してください。
ユーザーは各自の責任で適切な安全確保の技術を習得する必要があります。誤った方法での使用中及び使用後に生ずるいかなる損害、傷害、死亡に関してもユーザー各自がそのリスクと責任を負うこととします。各自で責任がとれない場合や、その立場にない場合はこの製品を使用しないでください。

各部の名称
アサップ
（1）本体（2）アタッチメントホール（3）セーフティキャッチ（4）アーム（5）ジャミングローラー（6）保護カバー（7）キーパーコード取り付けホール
オーケー トライアクトロック
（8）本体（9）ゲート（10）ロッキングスリーブ（11）ヒンジ
主な素材：アルミニウム合金（本体、アーム、カラビナ）、クロムメッキスチール（ジャミングローラー）、ステンレススチール（セーフティキャッチ）、ナイロン（保護カバー）

点検のポイント
毎回、使用前に以下の確認作業を行ってください：
-『アサップ』の点検：本体、アタッチメントホール、保護カバー、セーフティキャッチ（亀裂、傷、変形、磨耗、腐食等）、そしてアームのばねの状態をチェックしてください。セーフティキャッチが本体とこすれ合わないことを確認してください。ジャミングローラーを両方向に一回転させ、スムーズに回ることを確認してください。ジャミングローラーの歯が汚れていないこと、またすり減ってもいないことを確認してください。
警告：歯が１つでも欠けている場合は、『アサップ』を使用しないでください。歯が汚れている場合の手入れ法については、メンテナンス、クリーニングの項を参照ください。
-『オーケー トライアクトロック』の点検（本体、ゲート、ヒンジ、ロッキングスリーブ）ゲートを開いて指を放し、正常に閉じてロックされることを確認してください。ゲート上部のキーロックスロットに泥や小石等が詰まらないようにしてください。
- ロープは製造元の取扱説明書に従って点検してください：一度『アサップ』を使用して墜落を止めたロープは使用しないでください。またコア（芯）が傷んでいたり、外被に傷があったり、ロープに有害な化学製品との接触があったロープも使用しないでください。
最後に『アサップ』をロープにセットして作動点検をしてください（図2）。
各PPE(個人保護用具)の点検方法の詳細についてはペツルのウェブサイト(www.petzl.com/ppe)もしくはPETZL PPE CD-ROMをご参照ください。
もしこの器具の状態に関する疑問があれば、（株）アルテリア（TEL：04-2969-1717）にご相談ください。

適合性
この器具が、システムで使用されているその他の器具との使用に適している（併用された時に個々の器具の機能が妨げられない）ことを確認してください。
-『アサップ』を取り付けるロープ
EN 353-2：モバイルフォールアレスター（取付用のロープ/ワイヤーを含む）。
『アサップ』は、EN353-2 2002基準の適合試験において、EN1891タイプA基準に適合した以下のセミスタティックロープとの組み合わせで認証を受けました：
- ペツル『パラレル 10.5 mm』（縫製処理された末端、ポリアミド製）
- ペツル『アクシス 11 mm』（縫製処理された末端、ポリアミド製）
- ベアール『Antipodes 10.5 mm』（縫製処理をされた末端、ポリアミド製）
- ベアール『Antipodes/Industrie 11 mm』（縫製処理をされた末端、ポリアミド製）
- エーデルワイス『Rescue 13 mm』（縫製処理をされた末端、ポリアミド製）
その他のロープでの適合試験も進めています。ウェブサイト（www.petzl.com/ASAP）をご参照ください。
レイドロープ及び縒りロープは使用しないでください。
EN 12841 2006：墜落からの保護を目的とした個人保護用具 ロープアクセスシステム ロープアジャストメントデバイス
- タイプ A = ロープアジャストメントデバイス（個人保護用具）
EN 12841：2006 タイプ A の要求事項を満たすためには、EN 1891 タイプ A に適合した直径 10～13 mm のセミスタティックロープ（コア + シース）を使用する必要があります。（認証テストではベアール『Antipodes 10 mm』、エーデルワイス『Rescue 13 mm』が使用されました）
- コネクター、エネルギーアブソーバー付ランヤード：
『アサップ』は必ず：
-『オーケー トライアクトロック』を使用して、ハーネスやエネルギーアブソーバー付ランヤードに取り付けてください
- 以下のエネルギーアブソーバー付ランヤードのみを使用してください：『アサップソーバー』（L71）アブソービカ』（L57）
エネルギーアブソーバー付ランヤードの長さを伸ばして使用しないでください。（両端にそれぞれコネクターを1個付けた長さが限度です）
上記以外のアブソーバー、ランヤードは使用しないでください。
- アブソーバーをハーネスに取り付ける場合は、使用するコネクターがハーネスのフォールアレストアタッチメントポイントの形状や大きさに適していることを確認してください。
『アサップ』と併用する器具（アンカー、ロッキングカラビナ、アブソーバー等）は全てヨーロッパ基準に適合していなければなりません。
製品の適合性に関して疑問点があれば（株）アルテリア（TEL：04-2969-1717）にご相談ください。

図1. セット
1A. ロープのセット
- 親指でアームを押し、ジャミングローラーを下に引いてください
- 本体に記された矢印(UP)の向きにあわせてロープをセットし、ジャミングローラーを放してください。このとき矢印（UP）は吊元の方を向いていなければなりません。
『アサップ』には使用できる向きがあり、１方向の動きに対してのみロック機能が働きます。警告、死の危険：上下逆向きにセットすることは絶対にしないでください。
1B.『アサップ』をハーネスまたはエネルギーアブソーバー付ランヤードに取り付ける場合
必ずロッキングカラビナ『オーケー トライアクトロック』を使用してください。カラビナは常にゲートを閉じ、ロックされた状態で使用しなければなりません。ゲートが開いた状態では、カラビナの強度は大幅に低下します。カラビナの強度は、ゲートが閉じられ、縦軸方向に正しく荷重がかかったときに最大になります。縦軸以外の方向に荷重がかかった場合は強度が低くなります。コネクターは、必ず動きを妨げるものがない状態で使用してください。カラビナの動きが妨げられたり、外部からの圧力がかかったりすると強度は低下します。
1C. 警告、死の危険：カラビナは、2つのアタッチメントホールを通してクリップしてください。図1Bのようにロープがカラビナの内側を通ってセットされていることを必ず確認してください。
1D. フォールアレスとシステムは、必ずハーネスのフォールアレストアタッチメントポイントに連結してください。

図2. 作動点検
毎回、使用前に、ロープが正しく取り付けられていること、器具が正しく作動することを確認してください。確認作業は必ずセルフビレイをとった状態で行ってください。
『アサップ』がロープ上を上下にスムーズに動くことを確認してください。正しくセットされていると、スムーズに動きます。下方に動かすと、ジャミングローラーがスムーズに回転します。
墜落した場合に動く方向に強く引き、ロック機能が作動するかテストしてください。
テストをした後はロックを解除してください。

図3. ロックの解除
『アサップ』にかかっている荷重を抜き、ジャミングローラーをロープに押し付けた状態で、“カチッ”と音がするまで上に動かしてください。

図4. 取り外し
ロープから取り外すときは図のようにして外すか、取り付けの手順を逆に行ってください。

エネルギーアブソーバー付ランヤード
ユーザーとロープの間に距離を確保し、さらに動きやすくするためには、ペツルのエネルギーアブソーバー付ランヤード（上記リスト参照）を使用して『アサップ』をハーネスに取り付けてください。
警告: 長いエネルギーアブソーバー付ランヤードを使用すると、その分、墜落距離が長くなります。

図5. クリアランス = アサップと地面または障害物の間の空間
墜落した場合に途中で障害物にあたることを回避するため、ユーザーの下には必ず十分なクリアランスを確保してください。
クリアランス = L（『アサップ』とハーネスの連結部の長さ）+ 1mの停止距離（『アサップ』がロックするまでの距離とエネルギーアブソーバーが裂けたときの長さ）+ 2.50 m（ユーザーの身長とシステム全体の伸縮性）

図6. 注意点
-『アサップ』と吊元との間のロープは常にたるみがない状態でなければなりません。ユーザーは常に吊元よりも低い位置で作業をしてください。
-『アサップ』はロープ上でスムーズに動くことができなければなりません(ロープの結び目や傷んだ箇所、またエネルギーアブソーバー付ランヤードがロープに巻きつくこと等に注意してください)。警告：障害物によって器具の動きが妨げられないようにしてください。小石、泥、木の枝、コード、衣服、塗料等の障害物によって、『アサップ』の機能が妨げられることがないようにしてください。
- 作業環境によっては、器具の落下を防ぐため、全ての装備をコードなどを使って確保することが必要になります。『アサップ』を誤って落とさないようにするためには、コード取り付け用ホール（7）を使って、『アサップ』と『オーケー トライアクト』をコードで結びつけてください。方法についてはウェブサイト（www.alteria.co.jp）をご参照ください。警告、死の危険：コードを誤った方法で取り付けると、『アサップ』の機能の妨げとなり、ロックしない場合があります（例：コードがジャミングローラーに絡まる）。
- 塗料やセメント等が『アサップ』に付着しないようにしてください 警告、死の危険：ジャミングローラーが詰まり、正常に機能しなくなる恐れがあります。
- ロープの末端にストッパーノットを結ぶことを忘れないでください
- ロープにおもり（1 kg）を付けたり、『アサップ』の下方でロープを支点に結び付けることにより、操作することなく『アサップ』がロープ上を上方にスライドするようにできます
- 墜落の危険性、及び墜落の際の落下距離は、最小限に抑える必要があります。
- とがった角やざらざらした壁面など、ロープを傷つける可能性のあるものとロープが接触しないよう注意してください

メンテナンス、クリーニング
『アサップ』：
ブラシを使い中性洗剤で『アサップ』をクリーニングしてください。水で流し、よく乾かしてください。この方法で不十分な場合は、ペイントブラシのクリーニングに使用する溶剤でクリーニングしてください。
ただし、『アサップ』を溶剤に浸けないでください。水以外の液体が『アサップ』の内部に入ると、内部のパーツに損傷を与える場合があります。この結果、器具に不具合が生じる可能性があります。水以外の液体が侵入したと考えられる場合は、その製品を廃棄してください。
高圧洗浄は避けてください。
『オーケー トライアクトロック』：
『アサップ』とクリーニング方法は同じです。必要に応じてヒンジ、スプリング、ロッキングスリーブにシリコンオイルを注してください。
ロープ：
ロープは、合成繊維のブラシを使い、きれいな低温の水道水で洗ってください。洗剤を使う場合は、中性洗剤もしくはロープ専用の洗剤を使用してください。ロープ製造メーカーの取扱説明書に従ってください。

関連するヨーロッパ基準について
EN 12841：2006
『アサップ』はEN12841 2006に適合したロープアジャストメントデバイスです。作業ロープに問題が生じた際に墜落を止める働きをします（図5. クリアランスを参照してください）。
バックアップ用ロープを、ワークポジショニングのために使用しないでください。
- 衝撃荷重によってロープはダメージを受けます
最大許容荷重：100 kg
EN 365
EN 365基準の要求事項：適合性
レスキュープラン
ユーザーは、この製品の使用中に問題が生じた際にすみやかに対処できるよう、レスキュープランとそれに必要となる装備をあらかじめ用意しておく必要があります。また適切なレスキュー技術を身につけておく必要があります。
支点：高所作業
システム用の支点はユーザーの体より上にとるようにしてください。支点は、最低でも10 kNの破断強度を持ち、EN 795 基準を満たしていなければなりません。
その他
- 警告：複数の器具を同時に使用する場合、１つの器具の安全性が、別の器具の使用によって損なわれることがあります。
- ユーザーは、高所での活動が行える良好な健康状態にあることが必要です 警告：動きの取れない状態のまま吊り下げられると、ハーネスを着用していても重度の傷害や死に至る危険性があります。
- この製品を使用する作業方法が、地域の行政機関が定める規則や基準に適合していることを確認してください。
- 併用するすべての用具の取扱説明書もよく読み、理解してください
- 取扱説明書は、製品と一緒にユーザーの手に届かなければなりません。この製品を販売する場合、販売者はその国の言語に訳された取扱説明書を添付しなければなりません。

一般注意事項

耐用年数 / 廃棄基準
ペツルのプラスチック製品及び繊維製品の耐用年数は、製造日から数えて最長10年です。金属製品には特に設けていません。
注意：極めて異例な状況においては、1回の使用で損傷が生じ、その後使用不可能になる場合があります（劣悪な使用環境、鋭利な角との接触、極端な高/低温下での使用や保管、化学薬品との接触等）。
以下のいずれかに該当する製品は以後使用しないでください：
- プラスチック製品または繊維製品で、製造日から10年以上経過した
- 大きな墜落を止めた、あるいは非常に大きな荷重がかかった
- 点検において使用不可と判断された。製品の状態に疑問がある
- 完全な使用履歴が分からない
- 該当する規格や法律の変更、新しい技術の発達、また新しい製品との併用に適さない等の理由で、使用には適さないと判断された
使用しなくなった製品は、以後使用されることを避けるため廃棄してください。

製品の点検
毎回の使用前の点検に加え、定期的にPPEに関する十分な知識を持つ人物による綿密な点検を行う必要があります。綿密な点検を行う頻度は、使用の頻度と程度、目的により異なります。また、法令による規定がある場合はそれに従わなければなりません。ペツルは、少なくとも12ヶ月ごとに綿密な点検を行うことをお勧めします。
トレーサビリティ（追跡可能性）を維持するため、製品に付いているタグを切り取ったり、マーキングを消したりしないでください。
点検記録に含める内容：用具の種類、モデル、製造者または販売元の名前と連絡先、製造番号、認識番号、製造日、購入日、初めて使用した時の日付、次回点検予定日、注意点、コメント、点検者及びユーザーの名前と署名。
点検記録の見本はwww.petzl.fr/ppeまたはPetzl PPE CD-ROMでご覧いただけます。

持ち運びと保管
紫外線、化学薬品、高/低温等を避け、湿気の少ない場所で保管してください。必要に応じて洗浄し、直射日光を避けて乾燥させてください。

改造と修理
ペツルの施設外での製品の改造および修理を禁じます（パーツ交換は除く）。

3年保証
原材料及び製造過程における全ての欠陥に対して適用されます。以下の場合は保証の対象外とします：通常の磨耗や傷、酸化、改造や改変、不適切な保管方法、メンテナンスの不足、事故または過失による損傷、不適切または誤った使用方法による故障

責任
ペツル及びペツル総輸入販売元である株式会社アルテリアは、製品の使用から生じた直接的、間接的、偶発的結果またはその他のいかなる損害に対し、一切の責任を負いかねます。